

国際化・多文化共生の推進に尽力

国際交流員シュルトさんが 5年間の活動を報告



7月31日、ドイツ出身の国際交流員アントニア・シュルトさん（愛称トニーさん）の退任に伴う報告会がありました。シュルトさんは、市内小学校等を訪問し子どもたちと交流するなど、国際理解の推進に貢献。外国人市民向けの防災や新型コロナに関する情報発信、国際化推進イベントの企画など、5年間にわたり精力的に活動してきました。今後は国際化推進コーディネーターとして、引き続き国際化・多文化共生推進に尽力いただきます。

姉妹都市「石川県能登町」を支援

長期災害派遣中の土木技師が 被災地や業務の状況を報告



8月13日、姉妹都市「石川県能登町」の災害復旧支援のため派遣中の本市職員尾山直人主幹と井之上景也主任技師が、市長に中間報告を行いました。2人は令和6年能登半島地震で被害を受けた能登町の要請で令和7年3月末までの予定で派遣されており、道路などの復旧業務に従事。現地は災害復旧箇所が膨大で、復旧にはまだまだ長い年月とマンパワーが必要との報告がありました。

02	市政の動きトピックス
03	小林人／国際交流員 オストワルド・ロバートさん
04	特集／正しく恐れ、正しく備える 南海トラフ地震
06	特集／この夏をチカラに変えて 進め小林の子どもたち
11	こばやし Topics
16	特集／小林市の若手農業者グループ 小林市 SAP 会議を知っていますか？
17	特集／循環型農業を目指して 野尻町有機センターの役割
18	おしらせ
20	くらしのカレンダー
22	教育委員会からのお知らせ／ きずな協働体通信
24	手話で話そう！／健幸のまちづくり拠点 施設整備つうしん／元気の知恵袋
25	図書館からのお知らせ／こばまち便り
26	Instagram& 広報こばやし／市長コラム
27	心の花びら／SUKUSUKU／こすも〜日記

今月の表紙

夏の思い出、一生の宝物。



今月の表紙は、7月27日に開設された、すきむら河川プールの様子です。当日は小林青年会議所主催のイベントも開催。多くの子どもたちが魚のつかみ取りや水中宝探しなどを楽しみました。プールは8月20日まで開設され、約3千人が訪れるなど大盛況となりました。